

ぽけっと

2018年5月号 NO. 257

5月1日発行



今月のトピックス

地域の歴史に親しむ講座



藤まつり期間中、津島地域の歴史と文化について学ぶ講座を図書館で開催します。

- 場所 津島市立図書館 2階大集会室
- 日時 5月4日(金・祝) ※事前申し込み不要・無料

時間	講座名	講師
10時30分～ 12時	「資料に残された津島の怪異・伝承」	園田俊介氏 (津島市立図書館長)
13時～ 14時30分	「津島文華詞 -津島とかかわりのあった文化人 列伝- 」	浅井厚視氏 (津島市立南小学校長)
14時30分～ 16時	「近世尾張西部地域における豪農層の学習活動 と情報」	石田泰弘氏 (愛西市立佐織公民館長)

特設コーナー『維新八景』

2018年は、1868年の明治維新から150年を迎える年にあたります。
中央特設コーナー『維新八景』では、江戸から明治へと移り変わる激動の時代にスポットを当て8つのテーマに沿った本を紹介。西郷どん、新選組、夏目漱石や森鷗外などの文豪、歴史の舞台から去った敗者たち……。カメラや西洋風建築、牛鍋などの西洋文化も見逃せません。また、そのころ津島では何があったのか？ 揭示とも合わせてお楽しみください。



5月は自転車月間

1981年(昭和56年)5月に日本で「自転車の安全利用の促進及び自転車駐車場の整備に関する法律」(自転車基本法)が施行されたことを記念して設定されました。5月の下旬には、自転車ロードレース大会「ツアー・オブ・ジャパン」が開催されます。

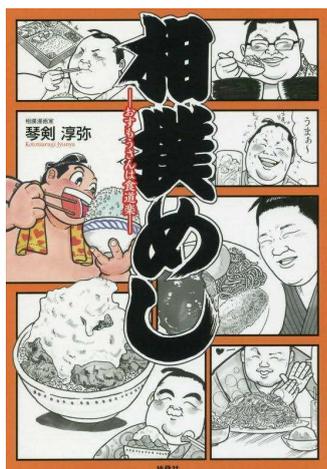
天気の良い日に、自転車に乗って出かけてみてはいかがでしょうか。



- 『超はじめてのロードバイク』 辰巳出版 486.5 千
- 『むーさんの自転車』 ねじめ 正一/著 中央公論新社 913.6 ネ
- 『おやこで自転車はじめてブック』 疋田 智/監修 子どもの未来社 681.3 オ
- 『敗者たちのツール・ド・フランス』 マックス レオナルド/著 辰巳出版 786.5 レ

新 着 図 書

『相撲めし おすもうさんは食道楽』



琴剣 淳弥/著 扶桑社 788.1 コ

お相撲さんのご飯、といえば？ さて、なんででしょう。

多くの方が「ちゃんこ鍋」を思い浮かべるかと思いますが、この本の主役はそれだけではありません。実にさまざまなご飯が登場します。

食べて体を大きくすることも仕事のお相撲さんは、もちろんグルメ。そして名シェフでもあるようです。強さの源「必勝めし」や、各地巡業の楽しみ「行きつけめし」、お相撲さんの作る「手作りめし」のほか、各部屋のお食事情「部屋めし」にも潜入。

元・力士である作者の描く美味しそうなご飯と、それを食べるお相撲さんの美味しそうな表情にも注目です。

ベストリーダー

先月の利用の多かった本をご紹介します

- 『津島短編小説コンテスト』 ← 「津島」をテーマにした短編小説。応募された 94 篇から、受賞作品を収録。
- 『陸王』 池井戸潤/著 ← 老舗の足袋製造業者が運動靴の開発に挑む。2017 年秋にドラマ化されました。
- 『衝撃の芸術肉筆春画』 ← 日本を代表する浮世絵師たちが描きあげた、世界に一つしかない肉筆春画を収録。
- 『革命のファンファーレ』 西野亮廣/著 ← 体験談をもとにした、現代のお金と広告についてのビジネス本。
- 『60歳からはじめるSNS』 岡本ゆかり/著 ← 今からでも遅くない！ SNS の始め方を分かりやすく解説。
- 『焼き鳥の丸かじり』 東海林さだお/著 ← 焼鳥の串外しは NG？抱腹絶倒の「丸かじり」シリーズ第 40 弾。
- 『ヴェネツィア便り』 北村薫/著 ← 「時と人」を描いた短篇集。時を越えて届く物語を 15 篇収録。
- 『三世代探偵団』 赤川次郎/著 ← 画家の祖母、女優の母、女子高生の娘。三世代で挑むユーモアミステリ。
- 『吾輩は作家の猫である』 高橋克彦/著 ← 愛猫の生きた証を残そうと撮り続けた写真と共に贈る猫の物語。
- 『切り紙でつくる恐竜図鑑』 大原まゆみ/著 ← 大人がハマる、恐竜の立体切り紙作品 55 点の作り方を解説。

図書館のホームページをご利用ください

本の検索や、行事などの予定、図書館員のコラム（「図書館だより」）など、ほぼ毎日更新しています。スマートフォン向け検索画面もでき、より便利になりました！ キーワードは「津島市立図書館」。

<http://www.lib.tsushima.aichi.jp/>

休館日

22日(火)(毎月第4火曜日)

津島市立図書館

〒496-0854 津島市老松町1-1

電話 (0567) 25-2145

